

# 岡山医療技術専門学校 平成 30 年度事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

## 1. 事業の概要

岡山医療技術専門学校においては、平成 26 年度より実施している中期目標・中期計画に基づき、平成 30 年度理学療法士および作業療法士国家試験の合格率 100%の達成を目標に国家試験対策、基礎ゼミ等による個別指導に取り組んだ。医療事務学科は、学生全員が 1 つでも多くの資格を取得することを目標として授業を展開し指導を行った。

また、就職率 100%の達成を目標に就職対策に取り組むとともに、中退率・留年率の低減および定員充足率の向上に取り組んだ。

教員は、専門知識・指導力向上を目的とした学内外での研修会・学会に積極的に参加するとともに各々の専門分野での研究を進め、その成果を盛り込んだ「岡山健康科学第三巻・四巻」を創刊した。

専門職大学（岡山医療専門職大学〔仮称〕）については、設置に向けて準備を進めてきたが、教育課程等の見直しが必要と判断し申請を取り下げ、再度情報収集ならびに書類作成に取り組み再申請を平成 30 年 10 月末に行った。設置申請は受理された。

## 2. 事業報告

### 1) 合議体活動関連

#### (1) 全体会議

学校長、専任教員および法人事務職員で構成される学務重要事項の最高審議機関であり、隔週月曜日 12:20～13:20 に開催した。各学科・学年の学生状況の把握や法人事業、学内事業に関するスケジュールなどの調整を行った。

#### (2) 運営会議

教務主任・教務副主任・各学科長・法人事務長で構成され、必要に応じ随時開催し、①教務運営に関する事項、②学生の教育に関する事項、③教職員に関する事項、④各学科の運営に関する事項についての基本方針を話し合い、全体会議に提出する議題について整理した。また、学科間、教務・事務の連携、調整も実施した。

#### (3) 学科会議

学科長を議長とし学科教員で構成される。不定期開催（概ね週 1 回）または緊急議題のある場合はその都度開催し、①学科運営に関する事項、②学科内学生の教育に関する事項、③学科教職員に関する事項を調整した。

#### (4) 臨床実習判定会議

学校長及び専任教員で構成し、理学療法学科及び作業療法学科 3 年次臨床実習終了後の平成 30 年 11 月 5 日（月）に実施し、臨床実習第 I 期～第 III 期の成績および実習後に実施する

実技試験の結果を基に内規に沿って判定を行った。

(5) 卒業判定会議

学校長及び専任教員で構成し、理学療法学科ならびに作業療法学科は平成 31 年 2 月 18 日（月）に開催し、国家試験セミナー（卒業試験計 3 回）の成績を基に内規に沿って判定を行った。

医療事務学科は平成 31 年 2 月 18 日（月）に開催し、1 年間の履修成績を基に内規に沿って判定を行った。

(6) 進級判定会議

学校長及び専任教員で構成され、平成 31 年 3 月 4 日（月）に理学療法学科・作業療法学科 1、2 年生の進級判定会議を開催し、前期試験・後期試験（評価実習、病院実習を含む）の成績を基に内規に沿って判定を行った。

(7) 教務委員会

学校長が指名する教職員計 11 名で構成され、必要に応じ随時開催した。新規事業の調査・企画・検討や学則・カリキュラム・内規・規程の整備、中期計画の実行・監視を行なう。この委員会で決定した事項は、全体会議の議事として取り上げ承認を得たうえ、学校運営に反映させた。

(8) 入試・広報検討委員会

各学科から選出された教員ならに法人事務局広報チームで構成され、必要に応じ随時開催する。入試・広報委員として委員会に参加し、委員会の議事内容を検討した。その上で、全体会議または学科会議で審議し平成 31 年度入試要項等に反映させた。

(9) 自己点検評価委員会

各学科から学校長が自己点検評価委員を選出し構成している。平成 30 年 3 月から活動し、平成 29 年度自己点検評価内容を基に平成 29 年度の取り組みについて自己点検内容を更新した。また作成した平成 29 年度自己点検評価書は、法人の自己点検評価委員会に提出され、学校関係者評価委員会の資料として活用された。

(10) 教育課程編成委員会

理学療法学科および作業療法学科では、学校側委員 5 名、企業等側委員 6 名で構成される教育課程編成委員会を年 2 回開催した（平成 30 年 12 月 17 日、平成 31 年 3 月 27 日）。学校側委員は、社会のニーズや保護者、学生、就職先、関係者等の情報を把握、分析し、企業等との連携を含め教育課程の編成に関し、基本的な方針を示した。企業等側委員は、企業等の要望や意見を反映させた教育課程の編成を推進し、職業教育の見地に立った実習の支援、実施について提案し、両者は相互に審議・協力し、職業活動を主体的に実施し、社会に

貢献できる人材の育成を行うことを共通目標とした。

#### (11) 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会は、外部委員 6 名で構成され、年 1 回開催した（平成 30 年 9 月 26 日）。委員会では、本校で行なわれた教育活動及び学校運営の状況についての自己点検評価の結果を踏まえた学校の評価を行い、その結果を学校長に報告した。

#### (12) 職業実践専門課程

認定を継続するために必要な取り組み（各種委員会の開催、外部企業との連携活動（実習））に取り組んだ。

#### (13) 外部評価

理学療法学科及び作業療法学科は、一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による認定審査（書類審査および実地調査【12 月 7 日実施】など）を受審し、評価基準を満たしているとしてリハビリテーション教育評価機構の認定を受けた。

## 2) 広報関連

### (1) 進学ガイダンス・校内ガイダンス等

広報チームと専任教員により進学ガイダンスに参加し、広報に努めた。高校からの本校への訪問（高校教員参観を含む）があり、学校説明、体験授業等を実施した。

### (2) オープンキャンパス

平成 30 年度は理学療法学科・作業療法学科 23 回、医療事務学科 13 回実施した。参加者に対し当校の概要と特色の説明および学科紹介、体験授業、相談会を行い、1 人でも多くの参加者に当校の魅力を伝え、出願に繋げる活動を行った。

### (3) 出前授業

出前授業のメニューを学校ホームページに掲載する他、高校訪問の際にチラシを持参する等の方法で広報活動を行った。

### (4) 学校見学

学校見学希望者に対しては随時対応し、学校見学、学校説明、入試説明、個別相談を行った。

### (5) 高校教員対象説明会（5 月 17 日、18 日）

法人設置校全校で高校教員を対象に、授業見学と出身学生の近況報告、学校説明・入試説明等を行った。

### (6) ホームページ

広報チームと教員で最新の情報発信を行った。また、新規ホームページ作成ならびに更新に協力した。

(7) SNS を利用した情報発信

広報委員が、学内行事や講義内容を Facebook・LINE@・Twitter を活用して、高校生等に分かり易い情報となるよう心掛けて発信した。

(8) インターネット広告

リスティング広告ならびにリターゲティング広告を中四国地方に限定して行った。

### 3) 教務関連

(1) 1・2年オリエンテーション

1年生は3月30日、4月3日・4日、2年生は3月30日にオリエンテーションを実施し、主に学則・内規の説明を行った。

(2) 講義ガイダンス

1年生は4月4日に実施した。前期に実施される講義についてシラバスなどを用いながら、講義への興味・関心を学生に持たせることを目的とし講義の説明を行なった。2年生は4月3日～9日にシラバス等を用いて講義の説明を行った。

(3) 前期・後期講義

学則に沿って、それぞれの学科・学年で講義を実施した。学生による授業評価に加え、教員による相互授業参観、理事による授業評価により、授業内容・授業方法の改善に努めた。

(4) 基礎ゼミ

基礎ゼミにて、各教員に担当学生を振り分け、学習面・生活面での支援を行った。基礎ゼミシートを活用するなど、各ゼミ独自の取り組みによって個別指導を実施した。また、ゼミ内での問題点や学生の要望等は各学科長、学級担当者に報告し、早急に的確な指導ができるよう努力した。

(5) 前期・後期定期試験（追・再試験・）

試験日程内で定期試験を実施した。不合格者に対してはレポート提出、再試験を実施し、適切に成績評定を行った。

(6) 模擬試験

理学療法学科・作業療法学科3年生に対して、10月～2月に3社11回の模擬試験を実施した。

#### (7) 卒業試験

理学療法学科・作業療法学科 3 年次国家試験セミナーの試験として、卒業試験（国家試験方式）を 3 回実施した。

第 1 回：平成 30 年 12 月 10 日

第 2 回：平成 31 年 1 月 11 日

第 3 回：平成 31 年 2 月 18 日

#### (8) 解剖学実習

岡山大学解剖学教室および医学部保健学科教授 田口勇仁先生の協力により、解剖学実習を実施した。1 月に計 4 回、理学療法学科及び作業療法学科 1・2 年生がそれぞれ 3 時間ずつ実施した。

#### (9) 見学実習

理学療法学科および作業療法学科 1 年生を対象に 9 月に 2 日間の見学実習を医療施設で実施した。

期間：夏季休暇内、各施設指定日

#### (10) 評価実習

理学療法学科および作業療法学科 2 年生を対象に 3 週間（15 日間）の評価実習を実施した。

期間：平成 30 年 11 月 5 日（月）～11 月 24 日（土）

#### (11) 臨床実習

理学療法学科および作業療法学科 3 年生を対象に 8 週間（40 日間）を 1 期として 3 期間の臨床実習を実施した。

第Ⅰ期：平成 30 年 4 月 2 日（月）～5 月 26 日（土）

第Ⅱ期：平成 30 年 6 月 11 日（月）～8 月 4 日（土）

第Ⅲ期：平成 30 年 8 月 20 日（月）～10 月 13 日（土）

#### (12) 病院見学

医療事務学科 1 年生は、平成 30 年 5 月 31 日に倉敷第一病院で病院見学を実施した。

#### (13) 病院実習（インターンシップ研修）

医療事務学科では、1 年生は平成 30 年 9 月 12 日～9 月 28 日に医療機関での実習を実施した。

#### (14) 実習地訪問

理学療法学科および作業療法学科の臨床実習各期間で臨床実習地訪問を実施した。実習中に調整が必要な場合もあり、緊急の実習地訪問を実施

した。

(15) 新規実習施設の獲得と訪問

遠隔地の施設を順次減らす方針により、岡山県内又は近県の実習施設を確保するために依頼訪問を実施した。現在、中国地方の実習地割合が増えている。また、新規の実習施設を訪問し、本校の実習要綱の説明を行った。

(16) 国家試験対策

臨床実習判定会議で合格判定となった3年生に対して、10月～2月の期間に国家試験対策セミナー及びグループワークを毎日実施した。

(17) 国家試験

第54回理学療法士・作業療法士国家試験を受験し、理学療法学科（現役）合格率96.9%、作業療法学科（現役）65%であった。

(18) 夏季・冬季休暇

学事暦に沿って実施した。

(19) 保護者会

5月19日（土）に保護者会を開催した。また5月19日（土）および5月21日（月）～26日に保護者懇談を実施した。

(20) 臨床実習指導者会議

3月22日（金）に臨床実習指導者連絡会議を開催した。

(21) 学習会

A0入試および指定校推薦入試合格者に対して、平成31年2月2日（日）に入学前教育として学習会を実施した。

(22) 各種認定試験実施

医療事務学科においてメディカルクラークなど各種認定試験を受験し合格率100%等全国の合格水準を上回る成績を達成した。

(23) 特別講義

評価実習・臨床実習・病院実習前に外部講師を招聘し特別講義を開催した。

理学療法学科：計1回

作業療法学科：計5回

(24) 授業評価

前期・講義の最終日に授業評価を実施した。その結果を講義担当者にフ

ードバックし、講義内容や構成の修正に役立てた。

#### 4) 学生支援・交流関連 (学内・学外)

##### (1) 行事

- ・ 入学式 (4月2日 / 3校合同)
- ・ 新入生歓迎会  
4月に学生自治会主催の新入生歓迎会を開催した。教員は自治会への協力、支援を行った。
- ・ 卒業式 (3月15日 / 3校合同)
- ・ 防災避難訓練 (4月避難経路確認、他1回実施)
- ・ 健康診断 (5月30日)
- ・ 就職案内説明会 (8月17日) 実習施設を含む34施設参加
- ・ スポーツ交流大会 (10月10日)  
理学療法・作業療法1・2年生、医療事務学科の1年生および全教員によるスポーツ交流大会を開催した。
- ・ インフルエンザ予防接種 (12月)
- ・ 節分行事 (3校合同豆まき大会) (2月4日)
- ・ 朝食サービス、昼食サービス
- ・ 実践英語レッスン
- ・ 1・2年生に対し、担任による個人面談を前・後期に実施した。
- ・ 基礎ゼミ活動内で、朝食サービスの援助が実施された。

##### (2) 経済支援・奨学金制度

- ・ 本山学園奨学金  
(理学療法・作業療法学科)  
ランク A90万円 (3年間)、B30万円、C20万円免除  
(医療事務学科) 15万円免除
- ・ 特待生制度  
(理学療法・作業療法学科)  
44万5千円
- ・ 成績優秀者特待生制度  
前年度の成績優秀者に対し、2年次・3年次の授業料より免除した。  
(理学療法・作業療法学科)  
ランク A45万円、ランク B23万円
- ・ 経済支援奨学金 (市町村民税非課税世帯)  
経済的理由により就学困難な高校生・受験生を支援 (24.85万円 / 全学1名)
- ・ 親族割引制度  
親族が本校、インターナショナル岡山歯科衛生専門学校、西日本調理製菓専門学校 (2004年3月以降) を卒業または在籍・同時入学の場合、4人目から授業料を免除した。

- ・文部科学省「専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業」  
経済支援（124,250円／全学1名）

### （3）同窓会活動

教職員6名が役員として同窓会活動を支援した。（総会・教育研修会10月実施、会報1回、ホームページの運用、会員名簿の修正）

### （4）学生サポート

臨床心理士による相談日を毎水曜日に設け、精神的ケアの充実を図った。また、学生指導主任、副主任を中心としたオカヤマイセン・サポート「学生相談室」の活動を開始し、学生からの相談を受けた。

## 5）入学試験関連

以下の入試を募集要項に従って実施した。募集要項では、本校が求める人物像を明確にして以下の日程で入試を実施した。

（理学療法学科・作業療法学科）

- ・A0入試（7月～10月計4回）
- ・指定校推薦入試（10月計1回）
- ・推薦入試（10月～12月計3回）
- ・一般入試（10月～3月計6回）

（医療事務学科）

- ・A0入試（6月～9月計4回）
- ・指定校推薦入試（10月計1回）
- ・推薦入試（10月～12月計3回）
- ・一般入試（10月～3月計4回）

## 6）社会貢献活動

### （1）ボランティア・地域貢献事業

1年生全学生に対し、老人保健施設等でのボランティア活動を実施した。5月～11月にかけて12施設に参加した。参加後学生にはレポート提出をさせた。

### （2）献血

10月17日岡山県赤十字血液センターの依頼により献血を実施した。

### （3）講師派遣

外部団体からの依頼により教員を派遣した。



## 7) 外部団体活動

以下の団体に教員を役員として派遣した。

- 岡山県理学療法士会理事会・各部会
- 岡山県作業療法士会各部会

## 8) 研修・自己啓発(教員の資質向上)

本山学園の研修規程に従い、職業実践能力の向上に資する週1回の臨床現場での研修あるいはこれに相当する研修を行った。各種研修会等への出席など研修計画の提出に基づき実施し、研修会に出席した教員は、研修成果を研修報告会等で報告・伝達講習を行った。

また、教員研修には以下のようなものを含む。

- ・卒後研修会(不定期)
- ・各種講演会開催・参加(不定期)
- ・各種学会発表・参加(不定期)
- ・教職員研修(FD・SD研修を含む)
- ・臨床現場での週1回の研修
- ・学術雑誌「岡山健康科学」を創刊

## 9) 健康管理

学生及び教職員の健康管理のため以下のとおり実施した。

- 健康診断(5月)
- B型肝炎予防接種(検査後必要な学生のみ)
- 四種抗体検査・予防接種(検査後必要な学生のみ)
- インフルエンザ予防接種(12月)